

議会だより しらおか Shiraoka

白岡絵手紙の会



ぱれっとの会



特集

5年度一般会計
歳入歳出決算認定

P 2・3

5年度特別会計・公営企業会計
歳入歳出決算認定

P 4・5

6年度補正予算、条例改正、
工事変更契約

P 5～7

一般質問 市政のそこが聞きたい!

P 8～15

議会報告会を開催

P15

委員会活動報告「見たこと・聞いたこと、そして考えたこと」
県4区議長会議員研修会

P16・17

審議結果、編集後記など

P18

～皆さんのがんばる姿、
楽しいひととき～

コミュニティセンターで活動している
「地球絵手紙・ネット白岡」に所属する
市民サークルの取材から

[左上・右下] 白岡絵手紙の会
[右上・左下] ぱれっとの会

No.225

令和6年9月定例会
(2024.11.1発行)

白岡市の公式ホームページで議会の情報（議案、会議録等）が見られます。
<https://www.city.shiraoka.lg.jp/shiseijoho/shigikai/index.html>



5年度一般会計

歳入歳出決算

白岡市の財政は良好



議会は問う、総括質疑

問 「持続可能」とは、単に財政的に破綻しないということではなく、市民の要望に、将来に渡ってタイムリーに的確に対応することができる財政状態にあることと考える。その見通しはあるのか。

答 財政の持続可能性を確保するためには、短期的な対応だけでなく、中長期的な展望を持って財政運営を行うことが必要と考えている。現在、市では、中期的な財政推計を行う中で、経常収支比率や実質公債費比率などの財政指標について推計している。今後もこれらの指標の推移を注視し、適切に財政運営を行うことで、「持続可能」な状態を保持できるよう努めていく。

問 5年度決算を踏まえた7年度予算編成の課題は何か。

答 5年度決算では、経常的な扶助費が過去最高を更新するなど、社会保障関係経費が増加した影響により経常収支比率が悪化し財政構造の硬直化が進んだ。今後は、積極的に推進してきた都市計画道路整備などの大規模事業の影響により公債費の増加が見込まれる。

7年度予算の編成に当たっては、このような課題を踏まえたうえで予算編成に取り組み、市民により良いサービスを提供し続けることができるよう努めていく。

問 地方自治法第241条第2項に「基金は、これを前項の条例で定める特定の目的に応じ、及び確実かつ効率的に運用しなければならない」とある。基金の運用は何によって行われているのか。それが国債によるものならば、どのような利付国債なのか。新規発行債が既発債か、償還日、残存日、表面利率、国債購入価格、国債利回り等の説明を求める。

答 基金は、地方自治法や市の内規に基づき、普通預金、定期預金及び債券で運用している。債券の具体的な内容については、地方自治法第241条第2項に規定されている「確実かつ効率的な運用」に支障を来すおそれがあるため、答弁は控えさせていただきます。



< 5年度 決算規模概要 >

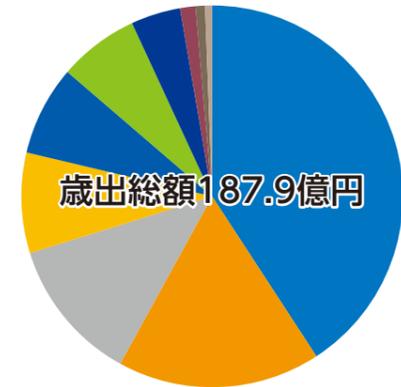
予算現額	213億8418万2千円
歳入決算額	204億2591万6千円
歳出決算額	187億9347万7千円
差引残額	16億3243万9千円
実質収支(黒字)	11億5987万1千円

5年度の目玉事業は

- ・ 公立保育所ICT導入事業
- ・ 温水プール大規模改修事業
- ・ 学校・家庭相互連携システム導入事業
- ・ 地域防災計画改訂事業

など

歳出決算構成図



民生費40.8%	土木費17.2%	総務費12.2%
教育費8.5%	衛生費7.6%	公債費6.8%
消防費4.2%	農林水産業費1.3%	議会費0.8%
商工費0.6%	労働費、諸支出金0.0%	

市の財政状況

項目	数値	県内市の順位
財政力指数 高いほど余裕	0.77	26位/40市
経常収支比率 低いほど良い	91.3%	7位/40市
実質公債費比率 借金返済額の割合	4.1%	13位/40市
将来負担比率 将来の負担する借金などの割合 [財政圧迫度]	-	1位/40市 将来負担のない団体(マイナスになる団体20市)は一律で1位

※財政課調べ

反対討論

会議録等から推察すると、基金を2020年前後に20年国債10億円購入した場合、国債金利は現在の定期預金の半分以下。売却するにも現況下で行えば億単位の巨額損失となり、公金の塩漬けた。基金運用の説明を拒み不透明にする公金の管理体制等を考え、本案に反対だ。

議提案 第4号 ▶ 可決

5年度一般会計歳入歳出決算認定に対する附帯決議

提案理由

公金の適正な管理及び効率的な運用について、議会のチェック機能を果たしていくために、透明性の高い決算議案添付資料への見直しを求めるとともに、市民に不利益な財政負担が生じることのないよう早期に、基金の運用状況を明らかにされたく、この案を提出するものである。

地方自治法第96条第1項第3号では、議会の議決事件として「決算を認定すること」を規定している。その審議、審査に当たっては、決算監査意見書を参考に、予算の適正適法かつ効率的な執行、行財政運営の改善など、個別具体的なことから大所高所に至る総合的なことまでの幅広い視点と、健全な財政運営の維持という長期的な観点も踏まえて行うものと捉えている。

本議案については、審議、審査に当たり、議案添付資料(財産に関する調書)において、基金の運用状況等に不透明なものがあり、そのような資料では、審議、審査の合理性を欠くものとする。

白岡市議会は、公金の適正な管理及び運用についてのチェック機能を果たしていくために、基金の運用状況について、透明性の高い決算議案添付資料への見直しを求め、市民にとって不利益な財政負担が生じることのないよう早期に、基金の運用状況を明らかにされたい。

以上、決議する。

令和6年9月25日

埼玉県白岡市議会

5年度 特別会計決算

議案
第66号 ▶ 認定

国民健康保険

問 被保険者が400名ほど減ったということだが、歳出総額は増加となっているとの説明があった。被保険者が減少しているのに歳出総額が増加となっている要因は何か。

答 5年度末の被保険者数は、4年度末と比較すると、421名減少している。しかし、一人当たりの医療費が、4年度と比較すると、14%程度増加している。そのため費用全体は増加している。

問 特定健康診査は市外の医療機関でも受診可能となっているが、どのくらい的人数が市外の医療機関で受診しているのか。また、対象となる医療機関を増やす考えはあるか。

答 市外では、蓮田市、久喜市、宮代町の医療機関で受診することができる。全体の受診者は2,359名だが、このうち237名が市外で受診している。現在は、南埼玉郡市医師会と単価契約を結んで実施している。医療機関を増やすということは、他の医師会と単価契約を結ぶこととなるため、実質的には難しい。

問 外国人の国民健康保険への加入状況と、保険税の滞納状況はどのようなものか。

答 外国人の加入者は135名で、滞納の状況は、把握していない。



議案
第67号 ▶ 認定

後期高齢者医療

問 印刷製本費は何に対し、支出したものが。

答 主なものは、保険料納付通知書の作成費用である。

反対討論

県後期高齢者医療広域連合は、3年度の保険料改定で特別軽減制度を改悪し、後期高齢者の保険料は年々引き上げられた。さらに消費税の引き上げも行われた中で、保険料の引き上げは高齢者の生活を脅かし、一層苦しいものになっている。

議案
第68号 ▶ 認定

介護保険

問 シニア元気アップ教室は、希望者全員が参加できるのか。

答 定員により、参加できないかたも数人程度いる。

反対討論

介護保険制度は、高齢者に対する介護サービスを一体的、効率的に提供し、社会全体で支える制度として平成12年4月から実施されてきた。しかし、高い保険料と利用料を負担できず、制度があっても利用できない人がいる。また、度重なる制度改悪が行われた。



シニア元気アップ教室の施設

《5年度 特別会計決算》

※千円未満四捨五入

議案	区分	歳入	歳出	差引額
第66号	国民健康保険	47億5168万7千円	46億3008万6千円	1億2160万1千円
第67号	後期高齢者医療	7億9064万9千円	7億8663万7千円	401万2千円
第68号	介護保険	40億7159万7千円	38億8767万7千円	1億8392万円
第69号	白岡駅東部中央土地区画整理事業	3億572万6千円	2億7852万4千円	2720万2千円

《5年度 公営企業会計決算》

※千円未満四捨五入

議案	区分	収益的収入	収益的支出	経常利益	当年度末処分利益剰余金
第70号	水道事業	10億7567万円	9億2084万7千円	1億5482万3千円	3億1079万2千円
第71号	公共下水道事業	9億1080万4千円	8億8514万4千円	2566万円	5101万6千円
第72号	農業集落排水事業	8094万5千円	8023万7千円	70万7千円	141万4千円

議案
第69号 ▶ 認定

白岡駅東部中央土地区画 整理事業

問 野牛・高岩土地区画整理事業では、事業完了後に新しい町名となった。本事業では、どのように考えているか。その検討時期や方法は。

答 事業完了に併せて新しい町名を設定していくものと考えている。現在、具体的な時期や方法は決まっていないが、新しい町名を決める際は、民意を反映できるよう、適切な方法で検討を進めていく。

5年度 公営企業会計決算

議案
第70号 ▶ 可決
認定

水道事業



問 4年度から負債が減っている理由は。

答 企業債の償還が進んだためである。

議案
第71号 ▶ 可決
認定

公共下水道 事業



問 中川流域下水道維持管理負担金の料金改定の具体的な予定はあるのか。

答 県からは、7年4月から1㎡当たり40円から43円とする案が提示されている。

本市の公共下水道事業の経費回収率は高い水準にあり、料金水準も適正であることから、現在のところ、料金改定は考えていない。

議案
第72号 ▶ 可決
認定

農業集落 排水事業



問 今後、区域内の対象世帯が更に減っていくと想定されるが、現状のままでは事業運営が難しいのではないかと。

答 農業集落排水は、公共下水道に接続することで経費を抑えることができると試算しているため、将来的には接続していく予定である。

6年度 補正予算

議案
第60号 ▶ 可決

一般会計(第4号)

市立学校適正規模・適正配置等計画策定事業、公立保育所ICT導入事業、白岡駅西口線整備のための土地開発基金の積み増し、大山小学校閉校式典事業費補助金などを増額するものです。

問 市立学校適正規模・適正配置等計画の策定について、事業予算3,400万円の算出根拠、策定に要する期間、委託範囲は。また、庁内で手作りすることを検討したのか。職員による策定は難しいとのことだが、どう難しいのか。

答 複数の事業者から見積を徴取し、算出した。期間は8年度中を目途とする。委託範囲は課題の整理や児童・生徒数の将来推計等の基礎データ収集及び技術的提案とする。当初、当該計画は教育委員会内部で策定を進めていたが、単なる課題対策ではなく、魅力的な学校教育を行うための計画策定には、民間事業者の知見を活かし、市職員は調査研究や意見聴取等に丁寧に対応することが重要であると判断した。



問 保育所入所選考Aマッチングシステム導入で、どの程度審査期間が短縮されるか。

答 従来は入所内定通知の送付が2月上旬であったが、1月中旬頃に短縮できる見込み。

問 白岡駅西口線道路改良事業の駅前広場整備について、銀行跡地は、どのような利用を計画し、整備を進めるのか。

答 駅前広場の整備は、複数年にわたり段階的に進めていく。第一段階の整備として、銀行跡地は、駅前広場の最終的な形状の一部となる整備を行う予定である。

	議案	区分	補正前予算額	補正額	補正後予算額
6年度補正予算	第60号	一般会計(第4号)	186億2275万2千円	5億5683万2千円	191億7958万4千円
	第61号	国民健康保険(第2号)	45億3333万6千円	370万7千円	45億3704万3千円
	第62号	後期高齢者医療(第1号)	9億3195万1千円	201万1千円	9億3396万2千円
	第63号	介護保険(第1号)	41億1688万6千円	1億9505万5千円	43億1194万1千円
	第64号	白岡駅東部中央土地区画整理事業(第1号)	2億9519万1千円	4226万円	3億3745万1千円
	第73号	一般会計(第5号)	191億7958万4千円	506万円	191億8464万4千円

議案
第 61 号 ▶ 可決

国民健康保険(第2号)

国民健康保険事業費納付金、前年度繰越金などの確定により補正を行うものです。

議案
第 62 号 ▶ 可決

後期高齢者医療(第1号)

後期高齢者医療広域連合納付金、前年度繰越金などの確定により補正を行うものです。

議案
第 63 号 ▶ 可決

介護保険(第1号)

問 居宅介護福祉用具購入費について、何件で、いくらを想定していたのか。

答 件数ではなく、一月当たり約35万円を想定していた。4、5月は約49万円を支給した。6、7、8月は約63万円、20万円、43万円である。

議案
第 64 号 ▶ 可決

白岡駅東部中央土地区画 整理事業(第1号)

問 都市計画道路白岡宮代線について、アプローチ部両側の側道は一方通行にするケースが多い。混乱を避けるため、早期の交通規制の対応が望ましいと考えるがいかがか。

答 側道については、都市計画道路白岡宮代線と白岡駅東口線の開通に合わせて警察との交通協議を行い、一方通行とするかどうかを含めて検討を進めていく。

議案
第 73 号 ▶ 可決

一般会計(第5号)

落雷により故障した放送設備を入れ替えるため、総合運動公園維持管理事業費を増額するものです。



総合運動公園

条例改正

議案
第 50 号 ▶ 可決

個人番号の利用に関する 条例の一部改正

デジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行等に伴い、条例の一部を改正するものです。

問 「進学準備給付金」が「進学・就職準備給付金」に名称変更とのことだが、「就職」が追加された詳細は。また、同給付金を進学時に給付された者が後に就職した場合、給付されるのか。

答 生活困窮者等の自立の更なる促進を図るため、安定した職業に就くことで保護を必要としなくなるかたへの支給として、対象が拡充されたものである。

高校卒業時に進学した者のみ給付される制度であったが、新たに就職した者も対象として追加されるものであり、進学または就職どちらかのみ給付対象となる。

議案
第 51 号 ▶ 可決

税条例の一部改正

税制改正に伴い、寄付金税額控除等について、条例の一部を改正するものです。

議案
第 52 号 ▶ 可決

国民健康保険条例の一部改正

12月2日から被保険者証が廃止されることに伴い、条例の一部を改正するものです。

問 条例第12条で対象としている被保険者証の返還を求めた場合は、どのような場合か。

答 病気など特別の事情がないにも関わらず滞納し、滞納の期間が1年以上の者に資格証明書を交付するが、資格証明書の交付に当たり従前の被保険者証の返還を求めることとなる。

なお、当市では資格証明書の交付の実績はない。

問 12月2日以降、マイナ保険証の利用登録をしていないかたには、資格確認書が交付されることとなるが、滞納により資格確認書の返還の必要はあるのか。

答 この度の制度改正では、資格確認書の返還の必要はない。

議案
第 53 号 ▶ 可決

特定教育・保育施設及び 特定地域型保育事業の運 営に関する基準を定める 条例の一部改正

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴い、条例の一部を改正するものです。

問 第23条中の「掲示」するもののうちの「重要事項」とはどういったものか。

答 保育料や苦情解決手段等の、保育所運営にあたり利用者に公表すべき事項である。

問 第5条の改正は、重要事項説明等をウェブページでの公開を目的としているとの解釈でよいか。また、ウェブページを開設していない事業者に対して罰則等はあるのか。

答 改正目的は、そのとおりである。ウェブページ未開設の事業者には、定期的実施している指導監査で対応について指摘することになるが、罰則規定は設けていない。

議案
第 54 号 ▶ 可決

家庭的保育事業等の設備 及び運営に関する基準を 定める条例の一部改正

児童福祉施設の設備及び運営に関する基準及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、条例の一部を改正するものです。

問 保育士の配置基準が変更されることになるが、条例中には基準を満たしていない施設に対する罰則規定は明示されていない。努力義務という理解でよいか。

答 適正配置を行うことが必要となるが、罰則規定は設けられていない。

問 改正に基づく配置基準を満たすことができなかった保育施設について、保育士雇用に関する猶予期間は、設定されているか。

答 国からは猶予期間の明示はないため、各施設の状況により、配置基準に応じた保育士の雇用をお願いしていくこととなる。

議案
第 55 号 ▶ 可決

手数料条例の一部改正

建築基準法の一部改正に伴い、所要の文言整理を行うものです。

工事請負変更契約

議案
第 58 号 ▶ 可決

かけがえ 菁莪学校橋架替工事(第二期) 請負契約の変更契約の締結

掘削する箇所の土の条件が想定以上に悪く相当の時間を要したことや、降雨による掘削箇所の浸水が発生し、工事の進捗が遅れたため、履行期限を7年3月25日まで、約6か月延長する変更契約を締結するものです。



工事中の菁莪学校橋の現状

議案
第 59 号 ▶ 可決

白岡宮代線整備工事(橋桁 製作・架設工)請負契約の 変更契約の締結

問 変更契約による約690万円の増額の内訳は、どのような割合か。また、当初契約において見込んでいなかったのか。

答 内訳は、水切り板設置に係る費用約110万円、吊り金具設置に係る費用約180万円、夜間工事に係る経費約400万円である。

また、当初設計で過分な積算をすることはしないため、工事の進捗に合わせ、受注者や杉戸県土整備事務所との協議により変更するものである。

問 歩行者迂回路について、工事期間中の迂回が必要となるのか。また、通行に必要な高さは確保されているのか。

答 橋桁を県道蓮田白岡久喜線の上空に架設する際に、歩行者の安全を確保するため迂回路を設置するものである。

また、迂回路の側となるP6橋脚そばにおいて約5メートルの高さである。



工事中の白岡宮代線P5橋脚



浜口清志 議員 (日本共産党)

人事院勧告と市職員の 給与等の改善

答弁…人事院勧告を踏まえ適切に対応する

問 2024年人事院勧告についてどのように捉え、それを市職員の給与改定に反映させるのか。4・5年度 of 全職員の時間外勤務は延べ何時間か。また、4・5年度ごとの月45時間以上時間外勤務を行った職員は何人いるか。

答 埼玉県人事委員会の勧告や近隣自治体の動向も踏まえながら、基本的に人事院勧告の内容に準拠し、県の勧告後、適切に対応する。時間外勤務時間は、4年度31,262時間、5年度28,696時間、45時間を超えた職員は4年度112人、5年度97人である。



道路 商業店舗開店に伴う 周辺整備を

答弁…店舗開店後の道路状況に応じて判断する

問 秋に開店が予定されているベルク白岡上野田店周辺道路の交通量は増えると想定される。市道9433号線を含む周辺道路の側溝蓋架けは十分されているか。

答 市道9433号線は、住宅の建ち並ぶ箇所や交差点付近の側溝蓋架けについて実施済みである。店舗周辺道路の側溝蓋整備については、開店後の交通状況を把握した上で、設置の必要性を判断していく。



野々口真由美 議員 (TSUNAGU)

高齢者福祉のこれから

答弁…第10期計画の策定に向け検討していく

問 高齢者を地域で支えるために非常に重要な役割を持つ、地域包括支援センターの増設を求める。また、在宅を望む市民にとって必要不可欠な訪問介護。介護報酬の値下げで苦境に立たされている単独訪問介護事業者。消えゆく訪問介護にならないよう施策を求める。

答 地域包括支援センターの配置については、日常生活圏域の見直しも含め、高齢者数や業務量など、地域の実情に応じて検討していく。また、訪問介護を含めた総合的な介護サービス基盤整備のため、介護事業所が新規参入しやすい施策について調査・研究していく。



会計 契約保証金などの 管理体制の改善を

答弁…マニュアルの周知と事務を見直していく

問 契約は、守ることでお互いの信頼関係を築き、また、社会からの信頼を得ることにつながる。よって地域クラブ活動推進事業におけるずさんな契約から生じた契約保証金未納問題は看過できない。このような歳入歳出外現金の管理体制の徹底と事務の見直しを求める。

答 歳入歳出外現金の管理体制は、歳計現金の例により出納及び保管を行っている。契約保証金についてはマニュアルに基づき適切な事務の執行及び管理がなされるよう周知していく。さらに、契約保証金の納付及び返還の期限を管理できるよう事務の見直しをしていく。



▲市議会HP



▲録画配信



和賀正義 議員 (TSUNAGU)

高齢者福祉の現状と今後は

答弁…申請から認定までの期間短縮に努める

問 介護サービスが適正・円滑に行われるためには、高齢者施策の確実な展開が必要である。介護認定期間短縮は、最重視すべきである。高齢化が進む中、調査員の増員、調査委託料の単価見直しが重要であるが、今後の対策について伺う。

答 認定調査のDX化を推進し、調査件数の増加に努める。また、調査委託料の見直しについて検討し、協力事業所の確保に努める。介護サービスを必要とするかたができるかぎり早く適切なサービスを受けられるよう、申請から認定までの更なる期間短縮に努める。



交通 のりあい交通の未来に向けて

答弁…のりあい交通の普及に努めていく

問 のりあい交通は10年目を迎え、市民の方から非常に多くの意見を聞く。公共交通の利用実態調査から、今後の進捗を伺う。また、新たな取組として、予約方法、車両の改善、収支率の改善、エリア拡大、登録や予約の周知の連携について伺う。

答 インターネット予約、キャッシュレス決済導入等の改善を図っている。車両サイズは適切と考える。広告費等の収入については他の事例を調査・研究する。エリア拡大は民業圧迫にならぬよう慎重に検討する。登録や予約の周知は各施設と連携し、普及促進に努める。



加藤一生 議員 (白和)

農業の産業化策は

答弁…魅力ある都市近郊型農業を確立する

問 県知事が「白岡市などの梨の振興」を表明した。また、藤井市長も「いちごの赤と梨の白で、当市の農業の産業化を図る」と表明している。この状況下、①具体的には、梨産業をどうしていくのか。②当市の農業の産業化をどう志向していくのか。

答 ①梨の積極的なPR活動により白岡美人のブランド化を推進するとともに梨の苗木及び防除ネット等の助成を継続して実施するなど、様々な形で梨の振興に取り組む。②梨といちごの紅白のイメージが定着するよう本市の立地を活かした都市近郊型農業を確立する。



「白岡美人」の梨箱

猛暑 市の猛暑対策は

答弁…今後も熱中症予防の啓発に努めていく

問 ①本年7・8月の救急車による熱中症搬送者は何人か。②国・県の対策はどうなっているか。また、クーリングシェルター開設は何回あったか。③来年に向け、市はどのような対策を考えているのか。

答 ①7月は25人、8月は7人であった。②国は熱中症特別警戒情報やクーリングシェルターの制度を創設した。県は熱中症予防のため「まちのクールオアシス」事業を実施中。クーリングシェルターの開設はない。③引き続き、機会を捉えて熱中症予防の啓発に努める。



尾嶋一雄 議員 (TSUNAGU)

罹災証明書の発行手続きは

答弁…他市町村の協力を得て遅滞なく発行する

問 罹災証明書の発行手続きや被害状況の調査は、誰がどのように行い、想定される発行までの期間はどのくらいか。また、他の自治体等との協定締結などの協力体制はできているか。

答 罹災証明書は、市が家屋の被災程度を調査し遅滞なく発行する。発行に要する期間は、順調であれば1か月以内を想定し、災害規模や被災状況によっては、さらに日数がかかる。協力体制は、県内全市町村や友好都市の君津市と職員派遣の協定を締結している。



罹災証明書の申請の流れ

教育 学校教育における主権者教育の取組は

答弁…今後も主権者教育の充実を推進する

問 現在、市内小・中学校で取り組んでいる具体的な主権者教育はあるか。また、新しい取組として、千葉県酒々井町で実施している「こども模擬選挙」や「こども模擬議会」を行うことはできないか。

答 各中学校では生徒会役員選挙において、校内に選挙管理委員会を立ち上げ、選挙運動を実施したり、市選挙管理委員会から投票箱や記載台、腕章を借りて実施したりしている。また、今後は関係各課と連携し、先進自治体の事例を参考に、研究していく。



遠藤誠 議員 (WAKABA)

イチゴノオカ白岡、梨の里白岡

答弁…柔軟な発想で市をPRしていく

問 市内の2つの駅名に、いちごや梨に関する言葉を入れたらどうか。もちろん、この名にふさわしい事業を成功させるのは当たり前だ。

また、企業の支店支社の名前にもいちごや梨を入れるようには。〇〇銀行イチゴノオカ白岡支店、素敵ではないか。

答 市の知名度や市民満足度の向上、定住促進などにもつながるユニークな提案である。行政だけでなく民間企業などと一体で市をPRすることは有効な方法である。市のイメージが変わるような機会には、柔軟な発想でシティプロモーションに取り組んでいく。



福祉 ワーク、ライフ&ケア

答弁…市民レベルでの理解を広げていく

問 ヤングケアラーがわかりやすい言葉だが、オールドケアラーもミドルケアラーもあふれている。

ケアは誰でもされる、していることだ。ケアの多くは女性の仕事として軽視されている。市の業務をケアの視点で見直す時期ではないか。

答 ヤングケアラーの背景には、家庭内の問題であることから発見の難しさがある。子どもの状況等に早期に気づき、必要な支援につなぐため、職員レベルにとどめず、ヤングケアラーへの理解を深められるよう普及啓発を行い、市民レベルでの理解を広げていきたい。



▲市議会HP



▲録画配信



中川幸廣 議員 (白和)

チーム担任制を

答弁…メリットを整理し、慎重に検討していく

問 担任が一人より、児童・生徒にとって複数の担任の方が性格や相性からしてメリットがあると思う。不登校児童・生徒の対応の一つとしても複数の担任の方が良いと思うがいかがか。

答 複数の職員が協力して不登校児童生徒を支援することにつながるメリットはあるが、教員が一人の児童生徒に継続して関わることができなくなることから、児童生徒との信頼関係を築きづらいという懸念もある。導入の効果について慎重に検討していく。



子供 さらになることも施策を

答弁…子ども施策を総合的に推進していく

問 次世代育成支援対策の推進・強化として育児・介護休業法及び次世代育成支援対策推進法が改正され、法の有効期限が17年3月31日まで再延長された。

この法律と白岡市子ども計画との関連、さらに、その内容の市民への周知とメリットについて伺う。

答 本計画は次世代育成支援対策を含め、子育て支援の取組や子ども・若者育成支援等をまとめた計画である。市ホームページ等で周知し、子ども施策を総合的に推進することにより、子どもを産み育てやすく、子ども・若者が健全に成長できる環境づくりを目指す。



斎藤信治 議員 (WAKABA)

農業振興地域整備計画を問う

答弁…関係機関と連携して担い手を支援する

問 "米がない"、生命に直結する農業を未来につなぐために見直すべきではないか。①耕作放棄地の防止対策はできているのか。②集落営農組織の法人化は進んだのか。③集落内の農地を丸ごと借り受ける「地域まるっと中間管理方式」を検討してみないか。

答 ①農業委員等と連携を図りながら離農したかたの農地を担い手に貸付している。②集落営農組織の構成員が減少しており法人化は難しい状況である。③他の先進的な取組を参考にしながら、意欲ある担い手に農地の集積を進めていくうえで必要な支援を行っていく。耕作放棄地再生事業(前・後)



福祉 こどもの貧困解消に向けて

答弁…早期発見と教育・福祉の連携を図る

問 こどもの貧困は、家族の困難でもあり、家族丸ごと支援が必要である。そのため多くの部署の連携が必要となる。どう対応するのか。また、子どもを支援する民間の団体等への支援が求められている。食品を融通し合えるなど、情報共有の仕組みを作れないか。

答 こどもの貧困解消には、貧困にあるこどもの早期発見が重要であり、教育部門と福祉部門の連携をより一層強化し、支援体制の充実を図っていく。また、民間団体等の支援品の情報共有については、県の「子ども応援ネットワーク埼玉」を案内し、活動を支援する。



動物

細井藤夫 議員 (WAKABA)

すべての動物を大切に

答弁…動物愛護の精神に基づく啓発に努める

問 ペットショップからペットを迎え入れるのは、「モノとして買う」のではなく、「家族として飼う」ことであってほしい。どんな動物であれ「わが家の家族」として迎えて、終生を大切に過ごして欲しい。飼い主や検討している方に、行政としてできることはないか。

答 ボランティア団体と連携し、連絡ボードの設置や屋外イベントの開催により、ペットの適正な飼育方法や正しい知識の周知・啓発に努めている。また、飼育状況チェックリストを活用した研修を実施し、飼い主が安心してペットと暮らすための支援を行っている。

ペットとして飼われる
オカメインコ

水道 水道水の安全性は

答弁…広報しらおか等に掲載していく

問 水道や川の水からの有機フッ素化合物(PFAS*)の検出が全国各地で相次いでいる。

本市では、しっかりと水質検査を行っているが、水道水が安心・安全に使用できることを示すためにも、検査結果を積極的に公開すべきだが、いかがか。

答 水質検査の結果は、検査項目に応じて広報しらおか又は市公式ホームページに掲載し、市民にお知らせしている。PFASの検査結果は、市民の関心の高まりなどを踏まえ、今後は広報しらおか及び市公式ホームページに掲載していく。

*有機フッ素化合物のうち、ペルフルオロアルキル化合物及びポリフルオロアルキル化合物を総称して「PFAS」と呼ぶ。これらの物質は、難分解性、高蓄積性、長距離移動性という性質があるため、国内で規制やリスク管理に関する取組が進められている。



福祉

中山廣子 議員 (公明党)

尊厳を守る
終活支援事業の導入を

答弁…本市の実情に合った終活支援を進める

問 人生の最後を考えた時の不安を払拭するため、「エンディングプランサポート事業」と「終活情報登録伝達事業」の2つの終活支援事業を導入し、心配事を早めに解決して、生き生きとした人生を送れるように、そして尊厳ある生き方を実現できるように支援しては。

答 高齢者人口の更なる増加に伴い、終活支援の必要性はますます高まっていくものと思われる。

まずは、終活セミナーを開催して終活に対するニーズ把握に努め、本市の実情に合った終活支援を調査・研究していく。



保険 「マイナ保険証」の正しい情報発信を

答弁…HP等を活用し情報発信に努めていく

問 本年12月から、現行の「健康保険証」は「マイナンバーカード」による保険証利用を基本とする仕組みに移行していく。市民が安心して「マイナ保険証」を利用できるよう、正しい情報を丁寧に、わかりやすく発信していくことが必要。市の取組を伺う。

答 本年7月に国民健康保険及び後期高齢者医療の被保険者に納税通知書等を発送した際に、マイナ保険証の登録手続等が掲載されたリーフレットを同封し、利用促進を図った。今後もHP等^{ホームページ}を活用し、マイナ保険証のメリットについて丁寧な情報発信に努めていく。



▲市議会HP



▲録画配信



黒須大一郎 議員 (白和)

人に優しい道 暮らしやすい道に

答弁…今後の道路整備において検討する

問 植栽がある市道とない市道がある。なぜそうなったのか。その維持管理は、年間を通じ何回手入れをし、その費用の額は。

次代を見据えシニアカーが通れる歩道、自転車（軽車両）専用道の設置等、新しい生活文化や交通機能に合った道路整備が必要では。

答 制度の改正により、整備箇所に応じて植樹帯の設置を判断してきた。植樹帯の除草等は年2回から3回実施しており、その費用は約2,100万円である。道路を安全に通行できるよう、路線に応じて道路機能の検討を行い、整備を実施していく。



安心 防犯カメラの設置を

答弁…犯罪発生率が高いエリアを精査していく

問 警察庁が行った治安についての意識調査によると、治安が悪化していると回答した人が71.9%で、最近の犯罪情勢を反映した形で「体感治安」も悪化している状況だ。

市は、駅前等の防犯カメラの設置を急ぐとともに、民間の設置を補助し、更なる安心安全の推進を。

答 「白岡市防犯カメラ等の設置及び管理運用に関する要綱」に基づき、犯罪防止に効果的な場所に防犯カメラを設置できるよう、久喜警察署と協議をしていく。

また、家庭用防犯カメラ設置に係る補助金については先進市の事例を調査していく。



石渡征浩 議員 (TSUNAGU)

御成街道沿線の 上野田地区に商業集積を

答弁…出店候補者等に働きかけを行っている

問 ①市民の生活利便性が大きく向上する②撤退リスクの低減につながり、長期間の営業が可能になる③将来的に白岡宮代線との相乗効果が期待できる。3点の理由から、上野田ベルクのショッピングセンター化を図るべきと進言したが、その後、働きかけをしているか。

答 出店候補者や地権者に対して、働きかけを行っているところである。現在、店舗出店の決定までは至っていないが、ベルクを中心として周辺に店舗が充実することで、買い物環境の向上などが見込まれることから、今後もしっかりと後押しを行っていききたい。



予算 バランスのとれた予算編成を

答弁…限られた財源の中で市民の安全を第一に

問 ここ1、2年の予算配分は、都市計画道路の整備に偏重しているため、生活するうえでの困りごとである市民からの要望への対応が不十分である。双方のバランスをとる必要があると考えるが、見解を伺う。

答 市では、今後も総合振興計画重点取組項目に掲げる事業に優先的に予算配分を行っていく予定である。要望の多い事業についても、市民の安全を第一に考え、限られた財源の中で一定の予算配分を行うなど、バランスを考えながら予算編成を行っていききたい。



松本栄一 議員 (白和)

危険な交差点の根本的改良を

答弁…危険性や舗装の状態に応じて対応する

問 御成街道から宮代町に向かう市道1-18号線と2-6号線の横断歩道に直径50cmほどのくぼみがあり、路面にはひび割れも発生し、歩行者や自転車の通行に危険がある。半年で4度の応急措置でくぼみを埋めているが、事故が発生する前に根本的に改良できないか。

答 舗装の経年劣化により、ひび割れや剥離が発生している箇所がある。市内全体の道路補修について、路面性状調査結果や舗装の状態を確認しながら補修工事を行い、維持管理に努めていく。



太田新井字北地内の市道

教育 全国学力テストとGIGAスクール構想*

答弁…デジタルとアナログの両立を目指す

問 本年4月に全国学力・学習状況調査が小学6年と中学3年の国語、算数・数学で実施されたが、中学3年国語の平均正答率が過去最低であった。文部科学省は、読書や作文の指導を通じて、読解力や文章作成力の向上が必要だとしているが、本市の今後の指導方針は。

答 タブレット端末を活用した活動だけでなく、紙の本、紙のノートを活用した取組も重要である。デジタルとアナログの両方の良さを生かして、子どもたちが社会を生き抜く力を育み、将来に向けた可能性を広げていくことができるよう、積極的に取組を進めていく。

※児童・生徒に1人1台のコンピューター端末をはじめとするICT環境を整備する文部科学省の取組のこと。



菱沼あゆ美 議員 (公明党)

命を守る避難所にするためには

答弁…避難所の速やかな開設と有効活用を図る

問 指定避難所の鍵の管理が課題だ。デジタルキーボックスを設置し、地域の責任者と暗証番号を共有すれば、速やかな開設が可能になるのでは。エアコンの無い体育館は、猛暑や厳寒期は災害関連死などのリスクがある。教室と学童保育所の最大活用を検討すべきでは。

答 災害時において避難所の開設は最優先事項の一つであるため、デジタルキーボックス等の設置による速やかな開設を検討する。また、学校施設での教育活動の再開時期等を協議のうえ、空調設備のある教室や学童保育所の活用について、関連部署で検討していく。



篠津小学校の避難場所案内標識

福祉 市民目線の高齢者施策を

答弁…制度の利用につながるよう工夫していく

問 介護サービスが必要になった場合、早期に要介護認定につながる事が大事だ。市ホームページなどで、申請するタイミングの目安や相談窓口などの情報を分かりやすくする工夫が必要では。また、老人福祉センターに親近感がわくような愛称を付けては、いかがか。

答 介護サービスの紹介や要介護認定申請の仕方などにあたっては、単なる制度の説明にとどまらない、市民目線に立ったわかりやすい広報に努める。また、老人福祉センターに親しみを感じてもらえるよう、利用者の意見を聴きながら愛称を検討していく。

一人につき2項目までを要約して掲載しています。各議員の全質問事項は、市議会ホームページ及び録画配信をご覧ください。また、提出された原稿を尊重し、表現は統一されていません。



▲市議会HP



▲録画配信



産業

嶋田友一郎 議員（白和）

地域経済活性化のための 誘致施策を

答弁…企業誘致等について、積極的に取り組む

問 北東京変電所周辺の立地利点を活かした電力需要の高い先端産業等の誘致及び交流・滞留人口を増やすための白岡駅東口から連続したまちづくりをしてはどうか。また、地域活性化・生活利便性を高める企業・施設の誘致を統一的に扱う組織を立ち上げてはどうか。

答 当該周辺地区は、都市計画や農地上の土地利用規制があり、企業誘致のために適した用地の確保が大きな課題となる。地域活性化や生活利便性の向上に資する企業誘致等については、積極的に取り組むとともに、必要に応じて専門部署の設置を検討していく。



北東京変電所がある
上野田・下野田地域

保育 保育所待機児童ゼロの
早期実現へ向けて

答弁…早期の待機児童解消に取り組んでいく

問 県内の3分の2の市町村において保育所等待機児童数ゼロが達成されているが、本市は、7月時点においても待機児童の解消には至っていない。スピード感を持って重点対応すべきであるが、保育施設等に関する次期計画は。また、どのように解決を図っていくのか。

答 次期計画である「白岡市こども計画」において、待機児童解消を確実なものとする十分な保育の枠の確保方策を策定する。

新たな保育所の誘致、認定こども園化への協議等の施策を進め、計画期間内であっても、早期の待機児童解消に取り組んでいく。

議会報告会を開催

日時：7月28日(日) 午後2時～4時30分

場所：市役所4階 議場、会議室

市議会の活動状況等を市民に積極的に発信するとともに、市民と議員とが意見交換を行うことにより、市民の声を議会活動に反映させることを目的として、議会報告会を開催しました。

議会報告会は、4年度から開催しており、今回で3回目の開催となりました。

過去2回は白岡市生涯学習センター〔こもれびの森〕で開催しましたが、今回の報告会は、市民に市議会を身近に感じていただくため、市役所4階の議場で開催しました。

当日は、延べ17名の市民の皆さんにご参加いただき、市政に関する様々なご意見をお伺いすることができました。



議員はおそろいの
ポロシャツでお出迎え

第1部 議会の報告

3月・6月議会における総務・文教厚生・産業建設の各常任委員会での審査内容について、各委員から報告を行いました。

第2部 市民と議員との 意見交換会

2つのグループに分かれて、市政全般に関するフリートークを行いました。産業、交通、教育などの他、多くの市民に市政へ参画していただく方策についてなど、様々なご意見をお伺いすることができました。

意見交換終了後、議場の演壇で、市民のかたに感想やご意見を述べていただきました。

市議会は、今後も引き続き、市民の皆さんの声をお伺いできる場を設けてまいります。

委員会活動報告

「見たこと・聞いたこと、そして考えたこと」

市税の適正な課税と徴収を ～市民が安心して暮らせる地域社会のために～

総務常任委員会
7月16日 市総務部税務課

今回の調査では、市の歳入の根幹である市税について、あらためて最新の動向を確認することができた。

今年度、個人住民税では森林環境税や定額減税等の税制改正に対応し、固定資産税・都市計画税では3年に1回の固定資産評価額の評価替えを行った。

市税の徴収では、市民の利便性の向上のため、口座振替やコンビニエンスストア、スマートフォン決済アプリでの納付を可能にする等の工夫が伺えた。

また、未納者に対しては、督促状・催告書の送付や納税コールセンターによる電話催告で納税の働きかけをしている。

それでも納税されない場合には、納税者の生活状況を見極めながら、滞納処分を行う。市外に転出した滞納者についても、市内在住者と同様に財産調査を行い、滞納処分を行う。税負担の公平性の観点から、滞納者に対しては引き続き、法令に基づく適切な対処を求める。

なお、財産差押の実績は、換価しやすい給与と預貯金が多く、不動産や物品は少ないが、多様な手段の確保に向けて更なる研究に努めてほしい。

最後に、5年度における市税（国民健康保険税を除く。）納税率の県内での当市の順位は、63市町村中18位であり、春日部県税事務所管内（さいたま市岩槻区を除く。）では7市町中1位とのことである（所管事務調査時点での暫定値）。春日部県税事務所管内での納税率が1位であるということは誇れることであるが、更に県内上位を目指してほしい。



佐渡市、長岡市の ゼロカーボン推進に向けた取組を視察

文教厚生常任委員会
7月29日 新潟県佐渡市
7月30日 新潟県長岡市

佐渡市は、電力自給問題解決のため、エネルギーの地産地消、自立したエネルギーシステムの構築



を推進している。具体的には、公共施設、県・市遊休地、耕作放棄地等への太陽光パネル発電施設の設置、木質バイオマス発電施設の新設、分散型の再生電力供給網の整備・エネルギーマネジメントシステムによる市の一元管理などである。財政削減効果は10～20%を見込んでおり、二酸化炭素は、2030年に2013年比46%減、2050年に実質排出量ゼロを目標としている。

長岡市は、2050年カーボンニュートラルの実現を目指して、2030年度までに取り組むエネルギー政策の基本方針及び具体的なプロジェクトをまとめた「長岡市カーボンニュートラルチャレンジ戦略2050」を策定し、徹底した省エネ対策の推進、再生可能エネルギーの日常的な利用、地域資源の循環促進を掲げ、二酸化炭素の削減を推進している。また、生ごみバイオガス発電センターを平成25年に稼働し、1日当たり65tの生ごみを受け入れ、生ごみ1t当たり約150㎡のメタンガスを発生させ、バイオガス発電等に活用している。



当委員会では、今後の当市におけるゼロカーボンの取組の推進に当たっては、特に市民の関心と理解、協力をどう得ていくのかが重要と考える。また、次代を担う子ども達への環境教育に力を入れることも大切である。地球温暖化という待ったなしの課題に対して、市民の利益と福祉を最優先に考えながら、太陽光パネルの公共施設への設置・運用を始め、ゼロカーボンに向けた今後の市の取組について、注視していきたい。

SAITAMAロボティクスセンター(仮称)に期待 ～県庁を訪ねて～

産業建設常任委員会
7月23日 埼玉県庁

鶴ヶ島市にある埼玉県農業大学校跡地において埼玉県が進めている「SAITAMAロボティクスセンター(仮称)」の整備手法について説明を受けた。



県は、平成29年度、30年度に鶴ヶ島JCT周辺の13市町(川越市、飯能市、東松山市、狭山市、入間市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、毛呂山町、越生町、川島町、吉見町、鳩山町)を対象区域とする埼玉県鶴ヶ島ジャンクション周辺地域基本計画及び基本方針を策定した。目指す方向性を、「オープンイノベーションによる超スマート社会の実現と経済の好循環」とし、農大跡地に近接する周辺地域にドローンや自動運転、ロボットなどの研究開発を支援する近未来技術実証フィールドとオープンイノベーションを促進する拠点

となる施設の整備が明記された。これらの施設の総称を「SAITAMAロボティクスセンター(仮称)」としている。また、センターを拠点にロボット開発に関わる多様な主体が集まり、協働して社会的課題解決に資するロボットの開発及び社会実装を促進し、県内産業の振興と経済的發展を図ることを目的として埼玉県ロボティクスネットワークを設立した。さらに、農大跡地約39.2haを土地区画整理事業により成長産業を集積するための産業用地を整備し、平成30年度に北側の13.6haを1社、令和4年度に南側の4区画10.1haを4社に分譲するなど民間企業が進出した。

交通利便性の高い鶴ヶ島市の農大跡地周辺地域を整備し、集積する取組は、先端産業の一大拠点になる可能性を秘めたプロジェクトである。市には、耕作放棄地や低未利用地が存在しており、それらの土地利用は喫緊の課題である。地域の発展のためにも多様な視点からの検討を求める。

県4区議長会議員研修会 ～議員ハラスメント防止について～

7月24日
三郷市

株式会社廣瀬行政研究所の担当弁護士である太田雅幸氏を講師に迎え、「議員ハラスメント防止について」をテーマに講演が行われました。

近年、新聞やテレビなどで取り上げられることが多いパワーハラスメントについて、労働施策総合推進法に規定されている定義、議員と職員や議員同士の関係から生じる優越的関係を背景とした事例、裁判での判例などわかりやすく説明していただきました。セクシュアルハラスメントに関しては、政治分野における女性の割合が低いこと等から、平成30年に「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が制定されました。実態調査の結果から議員活動等の中でハラスメントが発生していることが女性の政治参画への障壁の1つとなっていることなどがわかり、セクハラ、マタハラ、パタハラを防止するため、国・自治体に、研修や相談体制の整

備その他の施策を講ずることが義務付けられ、また、政治参画と家庭生活の両立のための環境整備を行うことを目的とした法改正が令和3年に行われました。

市議会としましても、政治分野における男女共同参画の推進のため、環境整備やハラスメントへの対応など多岐にわたる課題に対して積極的に取り組まなければならないと再認識した研修でした。



講演する太田雅幸氏

《 9月議会定例会の審議結果 》

(○：賛成 ×：反対 -：表決なし)

議案番号	議席番号・議員名 件名	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	議決結果
		尾嶋一雄	嶋田友一郎	細井藤夫	浜口清志	和賀正義	野々口眞由美	石渡征浩	斎藤信治	加藤一生	松本栄一	中山廣子	菱沼あゆ美	遠藤誠	中川幸廣	黒須大一郎	江原浩之	大島勉	
48	固定資産評価審査委員会委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
49	教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
50	個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
51	税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
52	国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
53	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
54	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
55	手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
56	埼玉県後期高齢者医療広域連合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
57	専決処分の承認を求めると(6年度一般会計補正予算(第3号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
58	菁莪学校橋架替工事(第二期)請負契約の変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
59	白岡宮代線整備工事(橋桁製作・架設工)請負契約の変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
60	一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
61	国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
62	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
63	介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
64	蓮田都市計画事業白岡駅東部中央土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
65	一般会計歳入歳出決算認定	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	認定
66	国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
67	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
68	介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
69	蓮田都市計画事業白岡駅東部中央土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
70	水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決及び認定
71	公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決及び認定
72	農業集落排水事業会計剰余金の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決及び認定
73	6年度一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議提案第4号	議案第65号「令和5年度白岡市一般会計歳入歳出決算認定について」に対する附帯決議	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	原案可決

※18番 大島 勉議員は議長のため、採決には加わっていません。※議席番号8番は欠員です。

9月議会定例会傍聴者数

本会議 市内 36名 市外 1名 合計 37名
委員会 市内 33名 市外 0名 合計 33名
(委員外議員26名を含む。)

※延べ人数です。

次回の議会定例会は、

12月5日(木)開会予定です。

ぜひ、市議会の会議を傍聴にいらしてください。
(議場は市役所4階です。)

また、本会議(一般質問・総括質疑)は、ライブ配信を行います。インターネットでご覧いただけますので、こちらもご活用ください。



▲議会中継

議会日誌

議会の主な活動内容を市議会ホームページに掲載しています。次の2次元コードからご覧ください。



議会広報常任委員会

委員長 黒須大一郎
副委員長 中山 廣子
委員 尾嶋 一雄
委員 嶋田友一郎
委員 細井 藤夫
委員 浜口 清志
委員 和賀 正義

編集後記

市議会では、市の特産品である「白岡美人」を市と一丸となってPR。9月定例会開会前には、プロモーションイベントが開催されました。今年の「白岡美人」は、雨が少なかったことで少々小玉でしたが、みずみずしく味は最高の出来栄でした。この議会日より皆さんのお手元に届く頃には、最盛期は過ぎていますが、また来年を楽しみに。これからも「白岡美人」を守り、全国に広く知られ愛される特産品になっていくよう大いにPRしていきます。(中山)